

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和4年3月15日

事業所名：サポートキッズうけんのいえ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1	☆玄関前の段差が視覚的に分かるよう、滑り止めの効果も兼ねた階段用のテープを貼って対応している。	☆必要に応じ検討することとして、玄関に段差があり、今後スロープや手すりなどの設置も検討していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		☆コロナ対策は毎日職員全員で徹底して行い、備品等の4S(整理・整頓・清潔・清掃)を一人ひとりが徹底して取り組んでいる。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		☆毎日のミーティング時に気になることや支援のあり方、保護者からの意見等共有するようにしている。	☆今後も継続していきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			☆ご協力いただいた評価表をもとに、今後の業務の改善とより良い支援につなげていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		☆結果を集計し、ホームページにて公表する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	☆第三者による外部評価は行っていない。	☆状況見ながら検討したい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		☆開所時から月に一度、内部研修を開催している。	☆今後も継続していきたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			☆アセスメントを適切に行い、継続していきたい。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1	☆本人・ご家族のニーズを汲み取り、各関係機関の相互理解の基、適切な支援がなされるよう計画書の作成を行っている。	☆支援計画を基に一人ひとりに寄り添った支援を行っていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	1	☆職員全員が情報を共有し、計画書をいつでも見れる状況にしている。	☆普段から目を通すようにし、支援に行き詰った際には、積極的に計画書を確認していきたい。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		☆その月の主となる職員を中心に協力して行っている。	☆継続していきたい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		☆活動内容が固定化してしまわないよう、日替わりで取り組む集団プログラム等、バランスよく提供するよう心がけている。	☆継続していきたい。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	1	☆各児童の特性を踏まえ、プランを考えて個別・集団プログラムの組み合わせを行っている。	☆継続していきたい。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		☆朝のミーティングで、一日の流れや役割、申し送り事項等を全員で確認している。	☆継続していきたい。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		☆業務後のミーティングの際に、気になった点や全員で共有すべき事項を確認している。	☆継続していきたい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		☆その日のうちに業務後に提供日誌を記録し、いつでも確認できるようにしている。	☆継続していきたい。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	1	☆定期的にモニタリングを行い、各職員の意見を取り入れて見直しを検討している。	☆継続していきたい。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	2		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		7	☆該当者なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		7	☆該当者なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	☆サービス担当者会議の時や保育園・幼稚園・こども園を訪問した際に、支援についてや様子等を話し合い、相互理解を深めている。	☆継続していきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	☆サービス担当者会議の時や小学校を訪問した際に、支援についてや様子等を話し合い、相互理解を深めている。	☆継続していきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	☆特定の職員だけでなく、全員がバランスよく研修を受けられるようにしている。。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		7		☆コロナが終息し安全が確認された時には、保育園や幼稚園、他事業所の方々と交流できる機会を設けていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		7		☆状況を見ながら検討していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		☆送迎の際の情報伝達や日々の連絡帳などを用いて、ご家庭・事業所間で児童の様子や活動内容等、共通理解が持てるよう努めている。	☆継続していきたい。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	4		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		☆契約時に説明を行い、必要であれば随時説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		☆計画書を作成したのち、児童発達支援管理責任者から支援内容の説明を行ったうえで同意を得ている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2	☆相談があった際には、真摯に向き合い、相談内容を職員間で話し合い、支援に繋げている。	☆一職員の軽はずみな考え、言葉かけは行わないように徹底する。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		☆今後コロナが落ち着いてきた時には、事業所での行事に合わせて保護者様を含めた交流の機会を持っていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		☆相談の申し入れがあった際には、丁寧にお話を伺うとともに、迅速に対応していきたい。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		☆毎月のお便りを発行し、各ご家庭にお配りしている。また、ブログやタイムライン等で活動の様子などが分かるように発信している。	☆継続していきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			☆個人情報の取扱いは今後も十分注意していく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			☆各職員間で情報伝達の漏れがないよう徹底していきたい。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6		☆コロナによりなかなかできていない部分もあるが、コロナが終息し安全が確認された時には、地域の方とも交流できる機会を設けられるよう検討したい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		☆年2回の避難訓練を実施致している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		☆年2回の避難訓練を実施している。	☆継続していきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		☆事前に保護者から情報の聞き取りを行っている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	☆保護者からの事前の報告があり、全職員が情報を共有し、把握できるようにしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		☆ヒヤリハットが発生した際には、直ぐにヒヤリハット報告書を記入・作成し、改善策を立てるなど行っている。	☆継続していきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		☆虐待防止研修は内部でも積極的に取り入れ、外部の研修会にも参加するようにしている。	☆研修を受けた際には、内部・外部研修受講報告書の記入・提出を行い、各々の意識向上を図っていきたい。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	2	☆身体拘束を行う事がなく、今のところ計画書には記載していない。	☆今後必要であれば、記載の検討を行う。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。